

里山自然公園

N04



発行 信太山に里山自然公園を求める連絡会
連絡先 信太の森 FAN クラブ 0725-44-840

e-mail hanaizm@ares.eonet.ne.jp

和泉市予算審査特別委員会

「北部地域公共施設整備事業」コンサルへの委託料計上

「環境に配慮したスポーツ施設の絵柄を委託したい」

3月8日、和泉市予算審査特別委員会が開催され、里山自然公園化をよびかけている和泉市が自衛隊と交換した16haの土地について、整備事業として計上された委託料について質疑が行われた。連絡会からは9名が議場で傍聴し、インターネットの中継を閲覧した会員もいた。以下は、当日の主なやり取りである

小林昌子議員

「北部地域公共施設整備事業に委託料として250万円が掲載されていますけれど、委託の内容をお伺いします。」

成23年、24年度の2カ年で事業のあり方を検討してすすめていきたいと思っています。」

たたき台の作成は 順序が逆ではないのか

政策企画室 庄司室長

「本事業でございますが、平成15年の第1回定例会、総務部文教委員会協議会におきまして、スポーツ・レクリエーション施設としての事業を報告させていただきました。しかしながら、長引く景気低迷の中、財政健全化計画では事業凍結を余儀なくされましたが、土地開発公社の健全化の観点もふまえ、昨年10月作成の和泉再生プランでは、整備費を1/2に抑制して収支計画におりこんだところです。今回の委託内容でございますが、以前のスポーツ・レクリエーション施設の計画を元に用地代を除き、整備費が1/2ということではどの程度の施設ができるか、また、信太山丘陵には希少種の植物などが生育していることから環境に配慮するなど、まず、議論のたたき台となる絵柄の作成を委託する考えでございます。次にタイムスケジュールですが、和泉再生プランに掲載している通り平

小林「たたき台となる絵柄の作成を委託というふうにご答弁いただきました。」

市長はですね、9月議会の私の質問、自然保護団体の公開質問状で『事業計画の策定に対し私たち市民運動団体や研究グループ、研究者などの意見交換の場をもっていただけますか』という質問に対し、『当然持たせていただきます。単なる意見交換の場ではなく、市民が参加する行政改革懇話会のような機関を設置し、その意見を練り上げて、和泉市を作っていきます。また、ワークショップなどを行って広く市民の意見を吸い上げる場も設けたいと考えます』これが公開質問状の回答でございますがこのように答えられ、私は今でもその考えに違いがないかと確認しましたら、『その通りだ。今後この事業を進めていくにあたっては市民の方々と共にワークショップ、ブレインストーミングの

ような手法をとって意見をまとめ上げたうえで計画を立てていきたい。そのように考えております。』とご答弁されました。

このご答弁で私は、北部地域の、いわゆるSゾーンといわれるところの施設整備というのは、まず市長のご答弁のように市民の方、或いは専門家などと話し合いを行って意見をまとめ上げたうえで計画を立てられるというふうに思っておりましたが、今回コンサルへの委託が出てきました。

まず、市長にお伺いしたいのですけれど、市長がご答弁いただいたのと、今回の事態は少し順序が逆ではないかと思うんですが、そのあたりについては市長はどのような指示をされたのでしょうか。」

庄司「今回の委託料の内容でございますが、先ほどにも申しあげたとおり、現段階ではスポーツ施設という絵柄だけしかございません。ですから、今回、信太山丘陵の希少種の植物、環境に配慮する、まず市役所内で議論できるたたき台となる絵柄を作成して、それから、広く市民の意見を吸い上げると言うことで、まずたたき台を作らせてほしい。と云うことでございます。

担当課からの提案に従った(?) 市長の指導性は発揮されたのか!

市長「今回の指示は、当然私は市民の方々との意見交換の場を持つという手法は考えていますが、その計画のたたき台、今説明した通りでありまして、行政の課題としては、スポーツの振興、自然環境の保全もある、その両方を考えてどのように進めていったら良いのか、その最初に議論できる物を作ると言うことが担当課からあがって参りまして、その方向で行こうというふうに指示したということです。」

小林「まあ一本来私は、市長が経過を持っておりますので議会でご答弁されたように、公開質問状でお答えをなさったように、まずは市民サイド、あるいは研究者とかの意見を聞いて、本来はするべきではないかと今でも思っています。100歩譲って、スポーツ施設を望む方もいらっしゃるし、自然保護を望む方もいらっしゃる。

これは一般論です。しかし、この地域については市長さんもよくご存じのように大阪府に残された湿地性の植物群、特に、生物多様性がこの頃よく言われますが湿地性の植物については非常に生態系の重要性が高い地域であるというのは専門家からも重々指摘されているところでもあります。私も他の議員さんと同様に、スポーツ施設を拡充してほしいという思いは当然持っております。

しかし、本当にこの地にスポーツ施設が必要なのかということでは疑問を持っているところです。かろうじて、今まで奇跡的に残った、その生物多様性の高い地域をみすみす、専門家からも非常に貴重な地域であると云うことを指摘されながら、市が持っている土地ですよ、市が考えれば何とか保全ということが考えられる土地でありながら、補助金というか防衛省の補助の率が高いということからスポーツ施設を持ってくると言うことには強い違和感を持っています。

今回のコンサルに委託すると云うことは、私は認めたたくはないのですが、前に進まないのであれば、市長が議会でご答弁いただいたように、絵柄ができてから検討するといったら、その絵柄が既成事実になるんですよ。それは、いみじくも先ほど1回目の答弁で、平成15年の協議会で報告したという文言があるでしょ、これが一人歩きしているんですよ。いかにも平成15年の協議会のとき報告したことが既成事実となってあたかも承認されたかのようになってしまうんです。このことは、私は先の議会で、副市長のご答弁で、『これは議決したものではない』『これから議決をもらって遂行していくものです』という答弁をいただきましたが、今回スポーツ施設で仮にスポーツ施設も可能だという絵柄を書いたら、それは既成事実になるのではないですか。それとも、例えばコンサルが信太山の湿地に鑑みてスポーツ施設はダメですとなったらその通りに行くんですか、そんなことはないでしょう。コンサルに絵を書かせるということはこちらの意向を反映させるということなんでしょう。まっさらから絵を書くことではないでしょう。その辺、コンサルにどんな仕様書を書くんですか。」

庄司「今度の委託の仕様書に関する内容の質問と
思います。これにつきましては、環境保全課で
現地調査いたしました結果を元に、一つ環境に
配慮した項目も仕様書の中に記載したいと考
えております。」

小林「環境への配慮といっても、それは非常に範
囲が大きすぎると思います。どの環境に配慮する
のか、例えば、予定地の信太山丘陵であれば、
湿地性の植物もあるしそうでない部分もあり
ます。過去2年間、和泉市が環境保全課で実施
した環境調査を十分尊重するとか、具体的に
載せていただかないと、環境への配慮といっ
たら、例えば造る物がCO2をできるだけ削減す
るといっても環境への配慮の一つになります
よ。
そのあたりをもっと具体的に仕様書に盛り込
む必要があると思いますけれど再度お伺いし
ます。」

具体的に仕様書に盛り込まなくては！ 環境保全課の調査・連絡会の里山自然公 園構想・・・データのの一つか(?)

庄司「環境に配慮するということでありますが、
和泉市自然環境調査、これは環境保全課が行っ
たものですが、これにつきましては信太山丘陵
のSゾーン地区を平成21年、22年度の2ケ
年をかけ現地調査したものと私は承知してお
ります。この調査報告書も仕様書のデータの
一つとして活用して参りたいと思います。」

小林「じゃー資料の一つとして報告書のデータ
も活用したいということですが、市民団体から
里山自然公園構想とか具体的にここのゾーン
にはこうした植物があるので守りたいとか具
体的な提案もされたと聞いていますが、それも
コンサルへの資料として添付されるつもりは
ありますか。」

庄司「仕様書の一つのデータとして考えてござ
います。」

小林「わかりました。環境に関するものは直近で
は環境保全課の調査もありますが、過去には大

阪府が平成10年代に調査したかなり詳しいデ
ータがありますのでこれらも参考のデータ
として添付していただくよう要望いたしま
す。それから、23年、24年であり方を考え
ると云うことでありますが、これは防衛省の補
助事業ですので、補助金の申請など絡んでく
ると思いますけれど、具体的にはスポーツ施設で
あれ、他の施設であれ、補助金について率の変
化というのはどんなふうになっていますか。」

庄司「補助金については、以前と変わらないと防
衛省の方で確認が取れております。今後この2
年間におきまして方向性も含めて検討してい
きたいと思います。」

小林「補助金をいただくに当たって、何か条件に
ついてお聞きになっていますか。特にありませ
んか」

庄司「特にございません。」

小林「わかりました。今回23年度でコンサルに
委託し絵柄が出来上がるのはいつ頃、補助金の
申請、工事までのスケジュールの詳細をお聞き
します。」

庄司「タイムスケジュールでございませけれど、
23年度予算でございませるので、新年度に入
ったら早急に委託していく考えです。まあ、絵柄
ができ次第一定市民の意見も取り入れたい、2
4年25年補助金を含めてすすめて参りたい
。」

小林「絵柄ができたなら市民の意見をということ
ですか、それってどんなふうに市民の声を反映
させるのか、パブリックコメントですか。」

検討委員会などはどこへ消えた(?)

庄司「現時点ではどういったかたちでのといった
ものはありませんが、パブリックコメントとい
った形の意見収集というのも考えていきたく
と思っています。」

小林「あの、ちょっとわからなくなって来てるん

ですが、絵柄ができて、仮に、絵柄に対して市民を二分するような意見が出たときはどうされるおつもりですか。やっぱり、行政として収拾がつかない様な状況は想定されていないのですか。私は、信太山の湿地に仮にスポーツ施設という絵柄を描けば和泉市民だけでなくむしろ外部の専門性の高い方から和泉市はなんて無智なことをするんだというふうに行行政レベルを乗り越えて収まらないような事態になるのではないかというようなことを懸念してるんですが、このコンサルが書いた絵柄が本当にその因になってしまうのではないかと思うんですけど、そのあたりの市民を二分する様なことになったときは、どんなふうにされるおつもりですか。」

庄司「・・・」

市長公室 吉岡「あの、市民を二分するような議論というよいうなことなんですけどそこまでの想定はいたっておりませんので、これからゆっくり考えてみたいと思うんですけど先ほど委員さんからご指摘のように信太山というのは非常に特異的な自然があると云うことはわれわれ十分に認識しておりますので、絵柄の作成に当たってはそこの辺の状況も委託先にはきちんと説明して参りたいと思っています。」

小林「吉岡さんの言葉の中で信太山丘陵の貴重というか、自然環境を十分認識しているという答えが、答弁の中にあっただようですが、けれど、それはもう行政として当然のことだと思うのです。繰り返しになりますが、自然は一度壊したなら生態系はもどりません。見掛けの自然はもどるかもしれませんが。私は老婆心から申しあげますけれど、一部、たとえばそこに希少種があるといっってそこだけの自然、見かけの自然を残したとしても、造成とかで水みちが変わる、土の中が変化してしまうということで見かけの自然は残っても結果的には数年で環境の変化ということで、かろうじ残されてきた植物なども今回の信太山丘陵の整備で無くなってしまいう懸念が大きいと云うこと申しあげておきます。

まして、このことについては市長が選挙前から

市民のみなさんの前で、『自分は自然が大事であると十分認識している』と応え、その人たちがスポーツ施設を変えることができるのかという問いに対し『変えることは可能だ』とかなり踏み切ったと思われるご発言もされたと聞いております。従って、希望を持って新しく市長になられた方を応援したいと心の底から応援された方がいらっしゃると云うことを十分ご理解していただきまして、かつ、信太山の現地を就任早々見学に行っていたいただいたことも存じあげておりますので、ぜひ、市民の方々の信頼を裏切ることのないようにしっかりと絵柄を描いていただきたいということを要望しまして私の質問を終わります。」

北部地域公共施設推進整備事業23年度予算(案)

単位千円

旅費	13
需用費	252
消費費	50
食糧費	2
印刷製本費	200
委託料	2,500
使用料及び貸借料	41
合計	2,806

—モウセンゴケ—

「コンサルにたたき台を作ってもらわなければならぬなんて、それって、税金の無駄使いじゃないの？」

「作ってもらったものを押し頂いて、市民からは意見を吸い上げるとは、なんともお上意識の目線だわね？」

「湿地の保全といっっておれば自然環境を守っていると思っっているのだろうか？」

「地方公共団体は、基本原則にのっとり、生物の多様性の保全および持続可能な利用に関し一略一自然的社会的条件に応じて施策を策定し、および実施する責務を有する」とこれどんな法律か担当者はご存知だろうか？ 自然を破壊するのならもっと勉強してほしいな！せめて罪滅ぼしにも！

信太山に里山自然公園を求める連絡会

これからの取り組み（案）

2月の運営委員会で、今年度の取り組みについて次のことが話されました。

- 署名活動を通じて、信太山里山自然公園を市民に広めていこう。
- 署名は、和泉市議会に対する「誓願署名」ではどうだろうか。
 - たとえば、「生物多様性基本法にのっとり信太山丘陵の自然環境を保全し後世に伝えるための施策を策定してください」
 - 「和泉市自然環境保全条例」（緑の保全と創出のための条例）の制定を求めてはどうかなど論議されました。現状分析も進めて3月の運営委員会で再度検討することになりました。いずれにしても4月から署名に取りかかり、6月市議会に誓願できるよう準備したいと考えています。今回の予算の動きも急であり、その動きに対応するうえでも爆発的に署名活動を展開する必要があると思います。
- 調査・観察会を定期的に行い、信太山丘陵の現状をできるだけ多くの市内外の人々に知ってもらう取り組みを進めよう。

この課題では、FANクラブと連携して、毎月観察会を定例化する（連絡会は毎月第4日曜）とし、清掃活動なども積極的に取り入れていこう。FANクラブは現状では、偶数月は観察会、奇数月は学習会を第2日曜に行っているのので偶数月の観察会は連絡会と合流して行う。
- 広く市民に信太山丘陵を知ってもらう取り組みとして、次の計画を準備しよう。

信太の森親子祭り(仮称)

と き： 10月15日(土)～16日(日) (仮)

ところ： 小学校または信太の森ふるさと館

内 容

- 講演会またはフォーラム(前夜祭)
- フォークソング、
などミニコンサート
- 紙芝居・お話し
- ネイチャークラフト
- 須恵器・土器づくり
- 写真教室、写生教室
- その他

など、親子で楽しみながら信太山丘陵との出会いを楽しみたい。会員のみなさんのそれぞれのパワーをお借りして実現させたい。要項ができ次第参加コーナなどの協力をお願いします。

フモトスマイレ

4月には群落が見られます



当面の連絡などはFANクラブのHP掲示板をご覧ください

<http://www.eonet.ne.jp/~hanaizm/> (信太の森FANクラブで検索でも可)

FANクラブ・連絡会の調査観察会の案内

3月～5月分

3月27日 (日)	連絡会調査・観察会	集合 9:00 惣ヶ池公園	公園予定地 調査・観察 周辺 清掃(ビニール袋持参) みどころ ヤマザクラ フモトスマイレ コバナノワレモコウの芽生え ニホンアカガエル ウグイス
4月10日 (日)	FANクラブ 連絡会調査・観察会	集合 9:00 惣ヶ池公園	公園予定地 調査・観察 みどころ フモトスマイレ群落、ミツバア ケビの花、冬鳥の別れ・ウグ イス
4月24日 (日)	連絡会調査・観察会	集合 9:00 惣ヶ池公園	公園予定地 調査・観察 清掃(ビニール袋持参) みどころ 湿地性植物、コナラ新緑
5月22日 (日)	連絡会調査・観察会	集合 9:00 惣ヶ池公園	公園予定地 調査・観察 みどころ 夏鳥(オオルリ、ホトトギス) 食虫植物(イシモチソウの花)

原則 *毎月第2日曜(午前中) FANクラブ 調査・観察会(偶数月)、学習・交流会(奇数月)

*集合:惣ヶ池公園正面入り口付近 (右図参照)

*アクセス 北信太駅下車

北信太駅筋(南海バス)乗車

鶴山台南小学校前 下車すぐ

*時間 9:00～12:00

*参加費:保険料として100円

*持ち物:観察に必要なもの(メモ、図鑑、双眼鏡など)

*清掃用にビニール袋・軍手など持参下さい

*案内:通常 FANクラブなどのメンバーが案内

問い合わせ:0725-44-8404

中止・変更などはFANクラブHP掲示板をご覧ください

<http://www.eonet.ne.jp/~hanaizm/>

